

標 題 : Mediterranean diet and colorectal cancer: A systematic review.  
地中海食事と結直腸がん : 系統的な再検討

---

著 者 : A. Farinetti, et al. (イタリア モデナ・レッジョ・エミリア大学  
移植、腫瘍および再生医療に関連する外科、内科学部および歯科部門)

---

掲 載 誌 : Nutrition. 2017 Nov-Dec; 43-44: 83-88

---

要 旨 :

結直腸がんは世界中で3番目に頻度が高いがんで、特に先進国では全症例のおよそ60%が発症する。

西洋社会では結直腸がんの高いリスクの証拠があり、そこでは住民が地中海沿岸で生活する人々よりも多くの赤身肉と加工肉を食べる傾向であるが、地中海沿岸の住民はがん全体の死亡率が低く、それは地中海食事などの食事習慣と関連付けられる。

この再検討の目的は、地中海食事の3成分(オリーブ油、赤ワインと、トマト)と結直腸がんの発症および進行との間の相関を評価することであった。

そのため我々は、キーワード「結直腸がん」「食事パターン」「地中海食事」「オリーブ油」「予防作用」「レスベラトロール」および「リコペン」を使用して文献検索を実施した。

オリーブ油のポリフェノール、赤ワインのレスベラトロール、およびトマトのリコペンは、分子レベルでがん経路を妨害する複数の特性を *in vitro* で示した。

それと同時に、これらの成分とがんの発生と進行の低減との関連を多くの臨床研究が報告している。

化学予防および腫瘍治療で既に採用したものととの協力治療を作り出すには、単一剤またはその組合せの正確な用量および投与を確認するために、より多くの臨床研究が必要である。

著作権 © 2017 年 Elsevier 社 著作権所有。

キーワード : 結直腸がん、リコペン、地中海食事、ポリフェノール、レスベラトロー

---